

図書館だより



図書館ホームページアドレス <https://lib.city.irusa.saitama.jp/>

No.65

令和8年7月号

【4・7・10・1月発行】

発行：入間市立図書館

本館 04-2964-2415

西武 04-2932-2411

金子 04-2936-1811

藤沢 04-2966-8080

～季節のイベントのご案内～

図書館では季節ごとにおはなし会などのイベントを行っています。
ぜひ気軽に図書館まで遊びに来てくださいね。

春のおはなし会スペシャル

子ども読書の日（4月23日）、こどもの読書週間（4月23日～5月12日）にちなんだおはなし会です。工作なども行います。



夏休み1日図書館員

図書館の仕事を体験します。普段は
見ることができない図書館の裏側も知
ることができます。（中学生以下対象）



ぜ～んぶおばけなおはなし会
おばけや妖怪がでてくる絵本や
紙芝居のおはなし会です。工作
も行います。

本の福袋

図書館の職員が選んだ本を
福袋に入れて貸し出します。
どんな本が入っているのか、
開けてのおたのしみ♪



冬のおたのしみ会

ハンドベルや大型絵本など、普段の
おはなし会をパワーアップして開催し
ます。素敵なプレゼントもあるかも!?



秋のおはなし会スペシャル

読書週間（10月27日～11月
9日）にちなんだおはなし会で
す。工作も行います。

チャレンジ!読書ラリー

読書週間にちなんだイベントです。お題に
沿って本を読むと、読んだ冊数に応じて
景品がもらえます。開催年ごとにテーマが
変わります。（小学生を対象）

※実施する図書館によって名称や内容が多少異なります。

上記以外のイベントも開催しています。最新情報につきましては、図書館公式ホームページをご覧ください。また、図書館では毎月、テーマを決めて本を展示する「特集展示」を行っています。詳しくは次のページをご覧ください。

特集展示

毎月、テーマを決めて、本の展示をしています。記念日や季節の行事など、テーマは様々。普段手に取らないテーマの本の中に、気になる本があるかもしれません。目に留まった本がありましたら、ぜひ借りてみてください。

今まで行った展示テーマの一部を紹介します！

新茶の季節に！

色々なお茶



夏といえば！

ホラー



入間市と連携して！

子どもまんが
月間など



気になる特集展示はありましたか？

ほかにも、図書館で開催する講座や映画会に関連した特集展示などを行っています！



読み聞かせボランティアグループの広場



図書館で活動している、読み聞かせボランティアグループのどんぐり(本館)・かざぐるま(西武分館)・おはなし^{まどか}円(西武分館)・茶の花(金子分館)・トトロ(藤沢分館)です。
各グループより、最新情報をお届けします。

- どんぐり** 12月のおたのしみ会の出し物を決めました。昔話のペープサートです。少しずつ練習を始めました。みなさん楽しみにしてください。
土曜日、日曜日のおはなし会で科学あそびを取り入れるようにしました。不思議な世界が広がります。ぜひ一度足を運んでみてください。
- かざぐるま** 図書館主催の読み聞かせボランティア養成講座の参加者の方々が、かざぐるまに入ってくれました。
夏のお楽しみ「ちょっとこわーいおはなし会」は、この新しい仲間も交え、来ていただいた方に「楽しんで」いただける様、がんばります。皆様、来てくださいネ。
- おはなし^{まどか}円** 毎月第1土曜日10時30分から西武分館でおはなしをしています。「あなのはなし」「だいくとおにろく」などたくさんのおはなしをしました。また、絵本、紙芝居、ペープサートなども楽しんでいます。最近、10時30分からよりも、11時からの方がよい？と思うことがありますが、どうなのでしょう。もし、より良い時間帯がありましたら教えてください。
- 茶の花** お待たせしました!!茶の花メンバーと金子分館職員による「夏のおたのしみ会」を7月25日土曜日10時30分から11時30分に開催します。夏のイメージに特化した、涼しいおはなしや冷たくて甘いもののパネルシアターなど楽しいおもしろいおはなしが満載です。新しいメンバーも加わり、「茶の花」はますます、パワーアップ!!みなさんの笑顔を思い浮かべて、ワクワク活動しています。金子分館にいらっやって、楽しいひとときを過ごしましょう!
- トトロ** 毎週木曜日の11時からのおはなし会の参加者は、就園前のちいさなお子さんが多く、ねんねの赤ちゃんもハイハイの赤ちゃんも来てくれます。
私たちが時々読み聞かせの合間に取り入れる「わらべうた」には、昔から伝わる子育てテクニックが詰まっています。ひとつ覚えれば繰り返し遊べて、数年後には親子の大切な思い出になることでしょう。



大人のためのBookガイド



～図書館職員のおすすめ本を紹介します～



『AIとデジタルで思い出を永久保存する本 写真・映像・音楽・本』
AIビジネス研究会／著 宝島社
《007.609／エ》

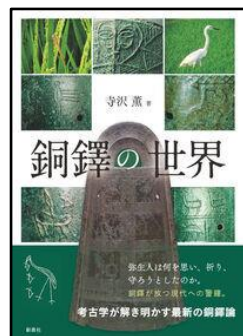
AIとデジタル技術を活用し、大切な思い出を残すための実践ガイドです。増え続ける写真や動画をどう管理するか…。そんな悩みを解決するのがこの本です。写真や動画、音声データの整理・保存の方法から、AIによる自動分類や復元、ストーリー化のコツまでやさしく解説されており、家族の記録や人生の軌跡の思い出保存術が1冊にまとめられています。初心者にもわかりやすく、すぐに始められるヒントが満載ですので、ぜひ参考してみてください。

どうたく
『銅鐸の世界』

寺沢 薫／著 新泉社 《210.27／テ》

銅鐸とは、弥生時代にのみ作られた、釣鐘型の祭器です。人や動物などのさまざまな文様が刻まれており、当時の祈りの姿を伺い知ることができるものです。彼らはどのような世界観で生きていたのでしょうか。銅鐸は、なぜこの形、この文様で、青銅製なのでしょう。

本書は、銅鐸を通して弥生時代に生きた人々の心の世界に迫ります。「日々の暮らしや生きていくことへの思いや希望」がにじむ銅鐸。遙かな心の故郷を訪ねるような1冊です。



『痛快！サボテン教室』

堀部 貴紀／著 岩波書店 《627.78／ホ》

「サボテンはサボテンであって、木でも草でもない」。厳しい環境で生き抜くために、独特な進化をとげた植物、サボテン。この本では、トゲや形のひみつ、砂漠でも生きられる仕組みに加えて、サボテンの活用と未来について科学的に知ることができます。

特に、生態系での役割は目からうろこ。例えば、触ると痛いトゲ。サボテンが身を守るために進化して手に入れたものですが、トゲのおかげでサボテンの周りは安全なので、他の植物も豊かに育っているそう。さらに、気候変動に強いサボテンは、人や家畜のための持続可能な農作物としても期待されているそうです。

上手な育て方と、おいしい食べ方も掲載。サボテンの魅力にどっぷりつかると1冊です。

『木山千景ノ怪顧録 弐』

嗣人／著 産業編集センター 《ツグヒ》

人の魂の色を視ることができる大学生の^{きやまちかげ}木山千景は、病弱な大学生です。式神を使い、怪異の^{たてわきあかり}関連する事件を解決している一族の当主、^{たてわきあかり}帯刀燈に弟子入りをし、延命の方法を探ろうとします。帯刀に振り回されながら、怪異や事件にかかわっていきます。

名士の家の蔵につけられた怪異が宿る鍵や、廃村に残された神社でかつて信仰されていた神の祟り、病院で起きた連続殺人などの事件を通して人と関わるうちに、木山千景の心境も変化していきます。

本書はシリーズ2作目です。1作目の『木山千景ノ怪顧録』と併せて読むと、より登場人物の心境の変化が感じられます。



新着資料もたくさんあります。各館の新着コーナーをご覧ください！
新刊だけでなく、寄贈でいただいた資料なども並びます。



こども向けBookガイド



～図書館職員のおすすめ本を紹介します～



『もしかしてキセキ』《913／なかが》

なかがわ ちひろ／作 のら書店

ある日、ぼくのクラスに、メキシコから、田中カルロスくんという転校生がやってきた。カルロスくんは、日本語も英語もわからない。そして、ぼくたちも、カルロスくんがしゃべることばはわからない。でも、ぼくとカルロスくんは、すこしずつしたしくなっていて……。

『すてきなひとりぼっち』、『ぼくは、ういてる。』、『ちょっとだけともだち』に続く、一平くんのおはなしです。

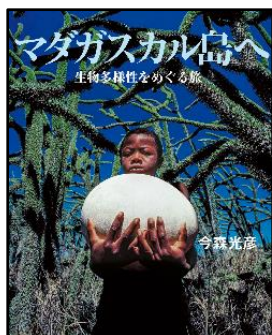
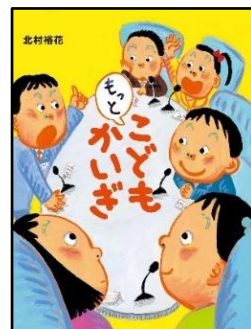


『もっと こどもかいぎ』《ふ6》

きたむら ゆうか／作・絵 フレーベル館

お父さんもお母さんも忙しそう。でも、今すぐ言いたいことがある！こんな時、あなたならどうしますか？「言いたいことがあるときはどうしたらいいか」を、わかばえんのみんなは真剣に話し合います。

みんな、たいせつな人に言いたいことを伝えられるでしょうか？応援したくなる本です。（絵本『こどもかいぎ』のつづきのおはなしです。）



『マダガスカル島へ 生物多様性をめぐる旅』《294》

今森 光彦／著 偕成社

マダガスカル島は、アフリカ大陸の東側にある、世界で4番目に大きな島です。生物多様性の宝庫で、島の生きものの約70パーセントが、この島でしか見られません。

この本には、不思議なすがたの植物や、キツネザル、カメレオン、カエル、それからユニークなデザインの昆虫たちの写真が載っています。ページをめくるたびに発見があるかもしれません。



ティーンズ向け

『それでも希望は失わない！「国境なき医師団」いのちの現場へ』

《Y329》中嶋 優子／著 河出書房新社

「国境なき医師団」(略称MSF)とは、医療・人道援助を行う国際的な民間団体で、1999年にノーベル平和賞を受賞しました。この本では、国境なき医師団日本の会長を務める著者が、医師になってMSFで働くまでの進路や、パレスチナ・ガザ地区などでのMSFの活動を振り返ります。

生まれた国が違うだけで、困難な状況に陥っている「自分と似た子」や、まだ見ぬ「友だち」のために何ができるか考えてみませんか。

